

開催日：令和8年2月4日【水】

16時00分～17時00分

場所：グループホーム symphony 津島

第1回 グループホーム symphony 津島 地域連携推進会議

【出席者】

○入居者 K・Y 様

○入居者 O・M 様のご家族（母・姉） ○地域住民の M・H 様 ○同市内 GH 管理者 イノベル

O・R 様

○グループホーム symphony 飯田（サービス管理責任者）村手（管理者）

【地域連携推進会議の目的】

- ① 利用者様と地域との関係づくり..利用者様と地域の人との顔の見える関係づくり。日頃からお互いに声を掛け合えたり、利用者様が地域の中でより良い生活を送るための関係づくり。
- ② 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進..スタッフが地域の人を知るきっかけにもなり、ホームと地域の人との双方向による理解醸成が図られる。地域との連携が深まることで、地域運営がしやすくなり、効率的な事業運営につながる。
- ③ 施設等やサービスの透明性、質の確保..外部の目が入りにくくなりがちな施設等を運営する事業者についても、地域に開くことにより施設等の運営やサービスの透明性を確保するため。

④ 利用者様の権利擁護..利用者様の思いがサービスに活かされているか、利用者が希望する生活を送ることが出来ているのかがポイント。

【当事業所の概要説明】 資料④参照

会社名：株式会社 symphony

設立：2021年1月

本社所在地：愛知県名古屋市中村区椿町16-8 ノノガワ名駅ビル8階

代表者：代表取締役 服部 謙志 飯田 秀美

事業所名：グループホーム symphony 七宝 事業所番号：2320500180

事業所住所：七宝町伊福河原3-6 甚目寺沖田43-3 森6-9-12

津島市百島町字献上30-8 大治町大字長牧字油23番地3

部屋数：26床 R8・2月4日現在 入居者数：25人

男性：14人 女性：11人

【グループホームの種類と障がい特性】

○グループホーム symphony は共同生活援助の介護サービス包括型として

サービスを提供。その他には外部サービス委託型、日中支援サービス型、サテライト型のサービス形態がある。

○障がい特性とは？

- ・障がいがある人が日常生活や社会の中で表われやすい特徴や傾向のこと
- ・「できないこと」ではなく、苦手な部分と得意な部分の特徴と考える

例 ・視覚に障がいがある⇒小さい文字が読みにくい

・発達障がいがある⇒急な予定変更に対応が難しい

・でもその一方で、ルールを守るのが得意だったり、好きなことに集中できたりする。

・誰にでも得意と苦手があることを理解する

・その人の強みを活かす環境を整える

重要ポイント：周囲の理解と工夫で、生活や地域社会の幅が広がる

【利用者様の目標や夢共有】

・会議参加入居所 K.Y 様の目標・夢の発表

「僕の夢は、サクソ奏者になることです。もっとうまくなりたい。月に3回のレッスンに自分で自転車で15分かけて通っています。2年前からサクソを習い始めて、動かなかった指が徐々に動くようになって嬉しいです。」

Symphony に来られる前、入退院を繰り返し、他のグループホームも4カ所ほど経験されました。

しかしどこも3ヶ月ほどで退所となり、安心して自分らしく生きられる場所を見つけられない

日々が続いていました。

Symphony に来て5年。日々の中には波もあります。それでも少しずつ、自分の目標に向かって挑

戦し続けるその姿は、私たちスタッフにとっても大きな希望であり、誇りです。

【symphony イベント・研修紹介】資料①、資料②、資料③参照

・トリケンイベントでは、一人一人が役割を持つことで責任感を育み、達成感や喜びを通して自己肯定感を高めることを大切にしている。

・symphony の部屋のこだわり：まるで自宅のようにリラックスできる温かみがあり、わくわくする空間に仕上がっています。見学された方からも好評の、モデルルーム風の空間づくりをしています。その日からでも、入居して頂けるよう、新しい布団を常にご用意している。

・symphony では、法定研修の他に、仲間と共に気づきを深め、支援の幅を広げる研修を行っております。（ドリーチャー研修）

【質疑応答・意見交換】

・GH は知的障がいの方が多く、夢を持っていない人が多いのではないか、楽しくなさそうなど、、、という、どこかマイナスイメージを持っていましたが、本日この会議に参加してみて、はじめて明るいイメージを抱くことができた。Kさんが直接話をして下さったことで、目標に向かっている姿にとっても感動した。【O様ご家族お姉様より】

⇒ ・障がいや環境を理由に挑戦したい気持ちを否定しないこと

・小さな一歩を一緒に喜ぶこと

・信じ続けること

その積み重ねが、利用者様の笑顔に繋がると信じ、symphony では大切にしています。

【symphony】

・実際に住んでおられる方の声を聞いたことが、何よりプラスでした。生活の様子や気持ちが身近に感じられました。

この仕事をされていて大変なことは何ですか？【地域住民 M 様】

⇒スタッフ教育や、日々の状態に合わせた支援です。毎日毎日が違います。【symphony】

⇒弊社でもエスケープが多く、警察の方もよくみえます。スタッフの統率をとることは難しく、どこでも課題ですね。【近隣 GH・O 様】

・利用者様が危険な行動をとられた時の対応方法を教えてください【地域住民 M 様】

⇒大切にしている 3 つの視点【symphony】

1 タイミング（声かけの間合い、落ち着くまで待つ姿勢）

2 距離感の取り方（近づきすぎず、離れすぎず）安心できる見守りの距離

3 チームワーク（一人で抱えない、スタッフ同士で情報共有し、同じ方向で関わる、一人一人の特性に応じた対応）

※会議中や施設見学中の様子

